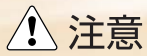


施工要領書

VICTAULIC®



注意

- ヴィクロック (VLG型) を施工される前に必ずお読み下さい。
- この施工要領書の手順に従って施工しない場合は脱管、などの事故となります。

| 品名 | 使用最高圧力 |
|-----|--------|
| VLG | 2.0Mpa |

1 部品の確認と準備する物

- ハウジング (2セクション)、ゴムリング (1本)、ボルトナット (2本) の部品点数を確認して下さい。
- 組立て用のスパナ、及び潤滑剤を準備して下さい。潤滑材 = シリコングリス、又は滑らかスプレー (当社販売品)

2 管端シール部のチェック

- 管端及び管端部はほぼ直角であり真円であること。
- 溝加工が正確に行なわれているか確認して下さい。
- 指触により、シール部が滑らかである事を確認して下さい。
軸方向のキズ、及び塗料の凹凸はグラインダー・サンドペーパー等により滑らかに仕上げてください。

3 サビ止め塗装

- 恒久配管の場合はシール部にサビ止め塗装を行ってください。
塗料 = ヘルメシール30V (当社販売品)
- ジンクリッチ、ローバルなど粒子が粗い塗料は通水性があり漏水の原因となりますので使用しないで下さい。

4 潤滑剤の塗布

- 組立不良防止の一環としてシール部及びゴムリングには必ず、潤滑剤を薄く塗布して下さい。

5 ゴムリングの取付け

- 最初にゴムリングを引き伸ばす様にして片側の接続管にはめ込みます。この時金ヘラなどを使用するとゴムをキズつけますので使用しないで下さい。
- 接続管のレベルの確認を行い、芯ずれが生じている場合は支持金物等の調整によりレベルを合わせて下さい。
- 接続管同志の隙間は E_{max} (2mm) 以内として下さい。
- 以上の確認終了後、ゴムリングを接続管のほぼ中央 (a ≒ b) に移動して下さい。
- ゴムリングの1部分がパイプのスキマに落ちていないか確認して下さい。

サイズ α(mm)
100A以下 1以下
125A以上 1.5以下

ロールグルーブ

シール部
潤滑剤の塗布

ゴムリング E
芯を合わせる

良
不良
不良



| 管 (JIS鋼管) | | 管端加工寸法 | | | | | 管端部許容最大外径 |
|-----------|-------|--------------------------------------|------------|------------------------------------|------------------------------------|-------|-----------|
| 呼径 | O.D. | シール面幅L | 溝幅W | 溝径G | 溝周長C | | |
| 50 | 60.5 | 16.0 ^{+0.4} _{-0.9} | 8.7 ± 0.8 | 56.9 ⁰ _{-1.0} | 178.8 ⁰ _{-3.1} | 62.0 | |
| 65 | 76.3 | 16.0 ^{+0.4} _{-0.9} | 8.7 ± 0.8 | 72.2 ⁰ _{-1.0} | 226.8 ⁰ _{-3.1} | 77.8 | |
| 80 | 89.1 | 16.0 ^{+0.4} _{-0.9} | 8.7 ± 0.8 | 84.9 ⁰ _{-1.0} | 266.7 ⁰ _{-3.1} | 90.6 | |
| 100 | 114.3 | 16.0 ^{+0.4} _{-0.9} | 8.7 ± 0.8 | 110.1 ⁰ _{-1.0} | 345.9 ⁰ _{-3.1} | 116.8 | |
| 125 | 139.8 | 16.0 ^{+0.4} _{-0.9} | 8.7 ± 0.8 | 135.5 ⁰ _{-1.0} | 425.7 ⁰ _{-3.1} | 142.3 | |
| 150 | 165.2 | 16.0 ^{+0.4} _{-0.9} | 8.7 ± 0.8 | 160.8 ⁰ _{-1.0} | 505.2 ⁰ _{-3.1} | 167.7 | |
| 200 | 216.3 | 19.0 ± 0.8 | 11.9 ± 0.8 | 211.6 | 664.8 ⁰ _{-3.1} | 219.8 | |
| 250 | 267.4 | 19.0 ± 0.8 | 11.9 ± 0.8 | 262.6 | 825.0 ⁰ _{-3.1} | 270.9 | |
| 300 | 318.5 | 19.0 ± 0.8 | 11.9 ± 0.8 | 312.9 | 983.0 ⁰ _{-3.1} | 322.0 | |

溝周長 (C) = G × π



6 ハウジングの取付け

- ハウジングの内側と、ゴムリングの外面に潤滑剤を塗布して下さい。
- ハウジングをゴムリングに被せ、ハウジングの爪部がパイプの溝に正確に入っているか確認してからボルトを締め付けて下さい。この時、両側のボルトにナットを少しかけた時点で、ゴム噛み等ゴムリングのセット不良を防ぐ為ハウジングを2、3度回転させてからボルトナットを均一に締め付けて下さい。(片締め不可)
- オーバルボルト(共廻り防止機構付)をハウジングボルトホールに正しく合わせて挿入して下さい。
- ボルトが締りにくい時は一度ボルトをゆるめてハウジングをはずしゴムリングが正常にセットされているか再確認して下さい。

7 施工の確認

- ハウジングの爪部がパイプの溝に正しく入っているか確認して下さい。
- ハウジングが正しく締め付けられるとハウジング両サイドの突起が管外面に接するのが見られます。これが締付完了の簡単な目安となります。
- 突起と管外面に隙間が出来る場合はパイプ乗り上げ等の施工不良が考えられますので、再セットを行ってください。

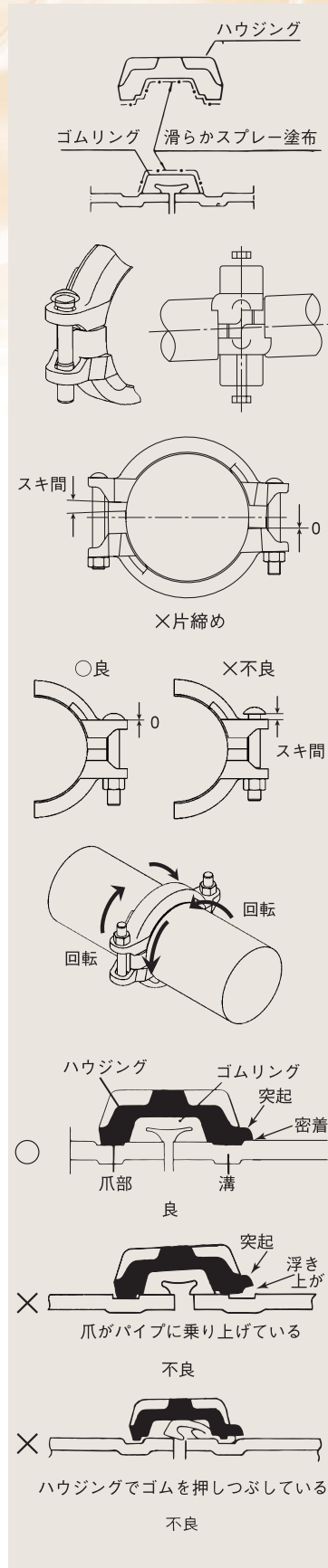
8 配管支持間隔

- 配管支持はネジ、溶接及びフランジ継手と同様とする。国土交通省「公共建設工事標準仕様書(機械設備工事編)」(令和4年度版)による

| 最大支持間隔 | | | |
|-----------|------|-----------|-------|
| 棒網吊り支持 | | 形網揺れ止め支持 | |
| 15A~100A | 2m以内 | 15A~50A | 不要 |
| 125A~300A | 3m以内 | 65A~100A | 8m以内 |
| | | 125A~300A | 12m以内 |

9 保管

- 直射日光が当る場所に長期間放置しない様にして下さい。屋内に保管するか屋外の場合はシートなどをかけて下さい。



御不明な点がございましたら、下記に御連絡下さい。



日本ヴィクトリック株式会社

本社 03(5114)8531
 大阪支社 06(6341)3556
 名古屋支社 052(223)8251

福岡支社 092(431)8208
 札幌支社 011(241)0021
 滋賀工場 077(553)5121

神戸工場 078(994)6721

